

# 第54回散策路の会活動報告

日時：2011年7月24日（日）13：30～17：00 天候：晴れ

参加者：大屋進、奥田せい子、小坂泰子、瀬尾友紀、瀬尾祥子、山田正夫＝6名

作業内容：大桐と峯山の分岐点（J15・I15）から大桐までの新道開設のため竹藪の切り倒しと倒木処理。この箇所は山沿いの道で狭く、昨年からの懸案事項で引き伸ばされてきた箇所であった。一方は山側、他方は崖っぷちの危ない道で、山側を削ることも、崖縁にロープを設置することも難しい。この整備につき、現場で市との協議の結果、新道開拓の方策をとることが良策だと決った。

竹藪が密集しているところに新道を作ることは開拓作業と同様並大抵ではない労力がいった。2つの方向大桐のそばから大屋さんと瀬尾さん。

大桐前の道から



葛の蔓を除く



竹藪の向こうに道が見えた



峯山との分岐点から



行けども竹藪ばかり



竹で垣根を

峯山との分岐点から山田さんが草払い機で刈りながら貫通するのを狙った。アオキやアズマネザサを切り落として進む。まつわりつく葛の蔓に手こずりながらの作業に、額からは玉の汗、汗でぐっしより濡れた作業衣の模様がくっきりと鮮やかになってくる。切った竹の後始末は小坂、瀬尾祥、奥田の女性たち。思ったより難航したが、2つの道が貫通し竹藪の中で互いの顔に出会った時は思わず皆で歓声をあげた。全長約10mになる。完成すれば現在使用の崖際の危険な散策路閉鎖の予定。

やっと貫通！！



## 次回の作業内容

八月二十八日（日）十三時三十分から。

新道の道普請、階段作り、道ならし

二（第一日曜日は一四日でお盆に当たります都合つかない方も多いのでお休みにします）都